



長いと思っていた夏休みもあっという間に終わり、今日から2学期です。西小にも、子ども達の元気な声が戻ってきました。日に焼け、大きな袋に夏休みの宿題を詰め込んで登校する子ども達、「どんな体験をしたんだろう。」みんなに聞いてみたい気持ちになりました。

2学期 飛躍の4ヶ月に

「あいさつができる。」「返事ができる。」「静かにできる。」「ノートがきちんととれる。」1学期、西小の子ども達は、大きく成長しました。2学期は、さらに子どもとの関わりを深めながら実践を進めていきます。

○ 学力向上に関わって

学力の向上をめざし、少人数での指導「西風タイム」を週に一回実施します。その中で個に応じた少人数の指導を行い確実に基礎・基本を身につけると共に、目標を達成した子どもには、発展的な問題もさせていきます。ノート指導も引き続き徹底していきます。

○ 生活向上に関わって

たてわり班活動をさらに活性化し、リーダーの育成と共に学年に応じて責任を負わせることで、自分の行動に自信を持たせるようにします。あいさつについては、「立ち止まって、いつでも、誰にでも」できるよう徹底します。

○ 体力向上に関わって

学年ごとに、サーキット運動を考え、授業の中で体を動かす時間を長くします。休憩時間を利用して全校で運動場を走り、持久力をつけます。



合唱クラブ 祝 Nコン銅賞受賞！

8月10日（金）西小の合唱クラブがNHK全国学校音楽コンクール広島県コンクールに出場しました。午前三番目の出演で緊張しましたが、課題曲の「希望のひかり」自由曲の「Wave」を自信を持って歌いきりました。毎日、朝、休憩時間、放課後と練習していた成果が現れていました。結果、参加2年目で「銅賞」を受賞することができました。



5年生の思い出 野外活動

7月25日～26日に5年生が野外活動を行いました。場所は、安芸高田少年自然の家です。猛烈な暑さでしたが、精一杯活動できました。キャンプファイヤーの中で、「西小ソーラン」を踊ったり、「合唱クラブ」が歌を歌ったりして、とても和やかな雰囲気でした。思い出に残った2日間になりました。



力を出し切った 水泳記録会

第45回呉市小学校水泳記録会が行われました。保護者の方の中にも出場された経験のある方がいらっしゃるかもしれません。西小からも5・6年生の代表の子どもが参加しました。夏



休みに入り、「水泳クラブ」で目標を立てて練習した子ども達は、自己記録を少しでも更新しようと一杯頑張りました。

安全ポスター

教育委員会が募集している安全ポスターの制作を6年生の代表の子どもが行いました。「登下校の安全」をテーマに、集中して細かいところまでいねいに描くことができました。返却後は、正門の横に掲示します。





西小のみんなで しあわせづくり



私たち教師が願っていることは、「学校が楽しい。」「勉強がよく分かる。」「みんなといっしょに遊びたい。」と言われること。「先生大好き。」「友だち大好き。」って言われること。

子どもたちの学校での様子を見ていて気づくことがあります。登校の時に、下を向いてさみしそうに歩いてくる子ども。休憩時間が終わり、涙を目にいっぱいためて教室に入ってくる子ども。暗い顔をして足早に学校を後にする子ども。きっと、子ども達の心に重くのしかかる何かがあったのでしょう。そんな様子を見た時、私たち教職員は「何かあったのでは？」と声をかけます。事情を聴いて話し合いの場をつくったり、個別の指導を行ったりします。学校だけでうまくいかず、お家の方に手紙を書いたり、電話をしたり、家庭訪問をしたりします。お家の方の協力の下、解決に至った事例が多くあります。



私たちが子どもの悩みに気づくことができず、学級の仲間や保護者の方から知らせを受けることもあります。教室の中では、何もなかったようにふるまっている子どもが、大きな悩みを抱えていることもあります。子どもたちが何を思い、どんな気持ちで過ごしているかを考え、お家の方と共に子どもに寄り添いながらどの子どもも「しあわせ」になれる力をつけていこうと考えます。

今、「いじめ問題」が大きな社会問題となっています。このことを学校として深刻に受け止めているところです。いじめは人間として絶対に許されない行為であり、人間性を無視した卑劣きわまりない行為です。安心して生活できる、しあわせな学校づくりのためには、絶対に排除して行かなくてはならないことです。

いじめ問題を考えた時、大人である私たちがこれまでの人生の中で誰にもいやな思いをさせなかったと自信を持って言えるでしょうか。教師や親はもちろん、人生の先輩である全ての大人達が自らの問題としていじめに向かい合って行かなくてはなりません。同じことを言っても、同じ事をして相手によってそのとらえ方は様々です。よく言われることですが、「足を踏んでいる者には、踏まれているものの痛さはわからない。」のです。相手の思いに寄り添うことの大切さを感じます。

西小では、いじめはいつでも、どの子にも起こりうることとして、未然防止、早期発見、早期対応のための具体的な取組を進めて参ります。そのためには、学校の取組だけでは不十分な場合もあります。保護者の皆様には、今後ともご理解とご協力、よろしくお願い致します。

